

会議録要旨

(1) 会議の名称	令和4年度（第2回）越前市国民健康保険事業の運営に関する協議会
(2) 開催日時	令和5年3月9日（木） 午後3時00分～午後4時00分
(3) 開催場所	生涯学習センター eホール
(4) 出席委員氏名	菱川 勝彦委員、丸山 珠恵委員、奥山 悦男委員、仲保 則子委員、 苅部 朋晃委員、月岡 幹雄委員、内田 恵弥子委員、大久保 小百里委員、 西藤 浩一委員、岸 慎治委員、渡辺 亜由美委員、山本 正男委員、 文室 みどり委員、近藤 こずえ委員、竹内 菜美委員（計15名）
(5) 欠席委員氏名	相木 七良右エ門委員、佐々木 浩三委員（計2名）
(6) 出席所管課職員 職氏名	出口市民福祉部長、前田保険年金課長、山崎健康増進課長、 須磨生活習慣病対策室長、笛吹収納課副課長、土井市民福祉部政策幹、 渋谷保険年金課副課長、広瀬健康増進課主事（計8名）
(7) 会議議題	(1) 令和4年度国民健康保険財政の状況 (2) 令和5年度国民健康保険事業計画（案）の概要 (3) 条例改正 (4) その他
(8) 傍聴者の数	なし
(9) 会議資料の名称	越前市国民健康保険事業の運営に関する協議会
(10) 会議の内容の 要旨	(1) 令和4年度国民健康保険財政の状況について ・国保会計予算について、団塊世代の後期高齢者医療保険への移行開始や社会保険への適用範囲の拡大などにより被保険者数が大きく減少し医療費の伸びが鈍化していることから、1億7,100万円減額した。また、本年度の決算で4,000万円の余剰金が見込まれることから、基金への積立金に計上し、3月末現在の基金残高は3億4,000万円となる旨説明。 (2) 令和5年度国民健康保険事業計画（案）の概要について 令和5年度予算（案）、保健事業等について説明。 ・資料P13「健康状態不明者訪問」とは→5年間健診および医療機関未受診者400人うち約250人について訪問。コロナ禍の中、血圧測定や訪問を拒否され状況確認が出来なかったことがあったため、来年度は訪問のやり方を吟味し実施していく。訪問できた方のなぜ健診を受けないのかという理

由としては、健康に自信があるが1番多く、仕事が忙しい、職場健診を受診しているという回答が多かった。

- ・国保加入者の医療機関受診者数は→3割程度→健診受診率との関係を分析して今後につなげてほしい。

- ・資格証対象者の内訳は→直近で、被保険者総数は13,777人、うち滞納者は311世帯487人。そのうち短期証が215世帯、残りの96世帯が資格証であり100人前後を推移。

- ・予算の内訳は→医療費の他、市が実施する保健事業や人件費、医療費データや資格確認のシステムにかかる維持管理費等

- ・国保税について現年分、滞納分の内訳は→現年度分が13億6,500万円、過年度分が6,890万円。滞納額は減少傾向。

- ・条例改正の内容と影響→「課税限度額の引上げ」については所得が高い方について限度額を2万円引き上げ104万円となる。

「軽減判定所得の基準額の引上げ」については、所得に応じて2割、5割、7割と国保税を軽減しているが、その判定所得額を上げることで軽減対象者が増える。おおよそ試算すると「課税限度額の引上げ」により国保税が上がる方が30世帯、「軽減判定所得の基準額の引上げ」により軽減世帯が30世帯ほど増えると見込まれる。

(3) その他

- ・令和5年度第1回会議は8月開催予定。